

平成 31 年度
消防ポンプ自動車 仕様書
(三浦消防署)

横須賀市消防局

第1 総 則

この仕様書は、横須賀市(以下「本市」という)が購入し、三浦消防署に配置する消防ポンプ自動車(以下「本車両」という)について必要な事項を定める。なお、疑義が生じた場合は本市と協議をし、十分熟知のうえ契約するものとする。また、契約後に生じた疑義は、すべて本市の解釈に従うものとする。

第2 規 格

本車両は、本仕様書に定めるところによるほか、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成18年4月1日消防消第49号)、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及びその他の関係法令の規格に適合し、かつ緊急自動車として承認が得られるものであること。

なお、車両の製作は日本消防検定協会・安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足すること。

第3 契約・仕様打合せ

受注者は、契約締結後1か月以内に仕様内容等について本市と打合せを行い、打合せ終了後の1週間以内にその打合せ内容の確認書を提出すること。

第4 提出書類

- 1 受注者は、契約後5日以内に次に掲げる書類を本市へ提出すること。
 - (1) 契約内訳書
 - (2) 製作工程(予定)表

- 2 受注者は、上記確認書の提出後2か月以内に次に掲げる承認図書を提出し、承認を得てから製作に着手すること。なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本(A4版ファイル、目次・インデックス付)	1部
電子媒体(一つの電子媒体に記録)	1部

 - (1) 製作工程表
 - (2) 承認図
 - (3) 特殊装備部分の電気配線図
 - (4) 消費電力一覧表
 - (5) その他本市が必要と認めたもの

- 3 受注者は、納入検査の3日前までに次に掲げる完成図書を作成し、本市へ提出すること。
なお、提出不能の図面等については別途協議とする。

製本(A4版ファイル、目次・インデックス付) 2部

電子媒体(1つの電子媒体に記録) 1部

- (1) 本車両仕様書
- (2) 外観5面カラー写真
- (3) 完成図
- (4) 消防ポンプ性能試験結果表
- (5) 日本消防ポンプ協会が発行した受託評価プレートの写し
- (6) 改造概要等説明書
- (7) 車両重量実測証明書
- (8) 車検証の写し
- (9) リサイクル券の写し
- (10) 車庫証明の写し
- (11) 自動車損害賠償責任保険証明書の写し
- (12) 排出ガス・燃費基準等ステッカーの写し
- (13) 自動車台帳(本市が指定する様式)
- (14) ポンプ取扱説明書
- (15) 車両取扱説明書(※製本のみ)
- (16) 車両及び積載資器材の保証書
- (17) パーツリスト
- (18) ショピカタログ
- (19) サイレンアンプ音声合成パターン一覧表
- (20) 圧縮空気泡消火装置の性能評定プレートの写し
- (21) 圧縮空気泡消火装置取扱説明書
- (22) その他本市が指示するもの

第5 検査、受領、保証等

1 検査申請

中間及び納入検査の申請は、検査日の2週間前までに検査日及び検査場所を明記した書面で本市に申請すること。

2 中間検査

ぎ装途中(塗装前、主要装置及び資器材固定金具が設置後)に実施するものとし、検査時期については別途協議とする。

3 納入検査

本市検査員及び納入者が立会いのうえ実施する。

4 受 領

納入検査の実施後、本市が合格と認めた場合に受領するものとする。

5 保 証

保証期間については納入後1年以上とし、保証書を提出すること。また、設計・製作・塗装・材質・部品等の不良により起因する不都合の発生については、保証期間後であっても受注者において無償により是正修復すること。なお、特許その他利権上問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

6 技術指導

受注者は、本市が別に指示するとおり、本車両及びぎ装装備品の取扱いについて、技術指導（3日間の予定）を行うこと。また、必要に応じて本市の依頼する指導内容に対応すること。

第6 納 入

1 納入場所

横須賀市消防総合訓練センター（横須賀市長瀬3丁目4番1号）

2 納入期限

令和2年2月26日(水)

第7 登録手続き等

車両の新規登録及び抹消登録に関する一切の経費については受注者が負担する。ただし、本車両にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法にかかわる経費は、本市が負担するため別途請求すること。

第8 引取り・解体処分

受注者は下記のとおり、車両1台及び別表に記載する車両積載品等と同等のものを引取り・解体処分すること。

1 解体処分方法

(1) 車両関係

ア 緊急自動車として再利用、再登録できない状態にすること。

イ 全ての赤色警光灯類（サイリアンプも含む）を取外し、再利用ができない状態にすること。

ウ 記入文字の全てを完全に消すこと（色付スプレー等で塗装処理は不可）。

エ その他本市が指示する必要事項。

オ 上記アからエの作業実施後、4面カラー写真及び神奈川運輸支局長が発行する解体が行われたことの証明書（登録事項等証明書等）を提出すること。

(2) 装備品関係

- ア 転売及び再利用ができないよう、適正に処分すること。
- イ その他本市が指示する必要事項。

2 引渡し予定車両

引渡し予定車両の概要は下記のとおりとし、車検証の写しが必要な場合は、担当者まで連絡すること。なお、他車両の状況等により引渡し予定車両が変更になる場合は、速やかに受注者へ通知する。

- (1) 車体の形状 消防車(436号)
- (2) 車名 日野
- (3) 型式 BDG-XZU334M
- (4) 初年度登録 平成21年2月
- (5) 車検有効期間 平成33年2月24日
- (6) 車両重量 4,690 kg
- (7) 車両総重量 5,865 kg
- (8) 定員 5人

第9 車 両

本市が購入する本車両の主要諸元は、次のとおりとする。

1 購入台数

1台

2 車両タイプ

キャブオーバー型、ダブルシート、消防専用シャシ、ホイールベース 2,800 mm以下

3 エンジン

最高出力及び検定出力

110 kW (150PS)以上 (最新の排ガス規制に対応したもの)

4 駆動方式

二輪駆動

5 変速装置

AT 限定免許で運転可能な方式

6 使用燃料

軽油

7 定 員

5名以上

8 完成車両寸法

(1) 全 長 6,000 mm以下

(2) 全 幅 1,930 mm以下

(3) 全 高 3,000 mm以下

9 装 備 品

別表1のとおり

10 ぎ装、取付け品及び取付装置

別表2のとおり

11 デジタル無線機等、車両運用端末装置 (AVM 装置)

別表3のとおり

12 積載品・付属品

別表4のとおり

第10 車体の構造

- 1 本車両は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- 2 本車両は、堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図るとともに、使用取扱い上の安全性及び操作性・点検・修理の維持管理を十分考慮したものとすること。
- 3 使用する材料は、全て新規製品、日本工業規格及び国の補助対象規格(「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額(平成16年3月30日総務省告示第281号)」並びに「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成18年4月1日消防消第49号)」)に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

第11 ぎ装等

1 キャブぎ装及び架装

(1) 外 観

- ア 車両前部の中央部に消防章を強固に取付けること。
- イ 助手席側の車外に補助ミラー（純正品とは別）を設けること。
- ウ 赤色点滅灯を車両前部に2個取付けること。
- エ フロントバンパーを50mm程度張出し、アルミ縞板の足掛けを備えること。施工不可な場合は別途協議とする。
- オ ルーフ前方中央部に赤色警光灯（標識灯、スピーカー及びモーターサイレンが一体化されているもの）を取付けること。なお、標識灯は車両のスマールランプと連動させ、点灯・消灯させること。
- カ キャブ上面にアルミ縞板製のルーフデッキを設け、周囲は強度のある1段手摺りを取付けること。また、必要に応じて離脱できるアルミボックス（大きさ等別途協議）を設けるほか、支障ない箇所に耐荷重表示をすること。
- キ ルーフデッキ側面の左右には、必要に応じて無線、AVM等のアンテナ台座を設けること。
- ク キャブ上面には、必要に応じて無線、AVMのアンテナ入線孔を設けること。
- ケ 手摺り兼用の旗立てパイプ（口径約25mm）を車体助手席側（Cピラー）に取付けること。パイプには抜け止め防止措置を施すこと。詳細は別途協議とする。
- コ フロントガラス上部に左右対称で手摺りを取付けること。
- サ オイルパンヒーター（コードの長さは10m以上、マグネット式）を取付け、カットスイッチを運転席付近に設けること。
- シ 安全走行を図るため、可能な限りアプローチアングル（図面記載）を確保すること。詳細は別途協議とする。
- ス 各ドア内側側面に黄色等の反射テープを貼付すること。

(2) 前席内装

- ア 車室は堅牢な天蓋及びドアを有すること。
- イ 乗車定員はキャブ内に5名以上とし、安全に乗車できる座席を設けること。
- ウ 乗車人員の乗降時及び走行時における安全の確保に必要な握り棒、手摺り、ステップ及びシートベルトを設けること。
- エ ルームミラー型車載用後方確認装置を取付けること。
- オ ドライブレコーダーを取付けること。
- カ 運転席付近に後退警報器（ブザー音）の解除スイッチを設けること。
- キ バックトーク装置を取付け、車内に専用スピーカーを設けること。また、運転席付近には解除スイッチを設けること。
- ク エンジンアワーメーターを取付けること。
- ケ バッテリーメインスイッチを設け、ぎ装関係の電源も切れる構造とすること。
- コ オーバーヘッドに設置するものは次のとおりとし、詳細は別途協議とする。
 - (ア) 運転手が使用可能な位置にモーターサイレンスイッチ（10連SWとは別）を設けること。
 - (イ) 助手席側に無線機の分離制御器及び無線機スイッチを設けること。

(ウ) 中央部に各種警報ランプを設けること。

(エ) 中央部に電子サイレンアンプを設けること。

なお、10 連スイッチと連動するように通信機能を有する施工とすること。

・音声合成機能付き（方向指示器と連動）警鐘の擬似音を発することが可能であること。

・赤色警光灯及び赤色点滅灯スイッチは電子サイレンアンプに組み込むこと。

(オ) ヒューズボックス

(カ) その他本市が必要とするもの

サ 各専用マイクは次のとおりとすること。

(ア) 運転席付近にフレキシブルマイクロホン設置すること。なお、運転手の操作性を考慮すること。

(イ) 助手席付近の前面パネル及び後部積載庫の無線送受話器付近（左右各 1 個）に音声マイク（1 回路を分岐配線）を設置すること。

(ウ) 後部座席付近に多機能マイクを設置すること。設置位置は別途協議とする。

(エ) 各専用マイクの端子には必要に応じて抜け止め防止措置を施すこと。

(3) 前席中央部内装

前席の中央席を取外し、重量物に耐えうる強固なコンソールボックスを設けること。

当該箇所が付帯する資器材は以下のとおりとする。なお、状況等により変更になる場合は、別途協議とする。

ア 車載無線機

イ 無線受話器

ウ 車両運用端末装置（AVM 装置、液晶ディスプレイ等の重量は約 5 kg）

エ 電装用スイッチ（必要時）

オ 10 連スイッチ（誤操作防止保護枠付き）

(ア) 渋滞通過

(イ) 交差点通過

(ウ) 出場予告

(エ) 赤色点滅灯 OFF

(オ) 周囲灯・計器灯

(カ) モーターサイレン

(キ) ポンプ操作関係

(ク) 別途協議とする

(ケ) 火災出場

(コ) 救助出場

カ 電子サイレンアンプ（※オーバーヘッド設置時は削除）

(4) 後席内装

ア 後部座席前方にステンレス製の手摺り棒を設けること。位置については別途協議とする。

手摺りには AED 積載ボックス、書類入れボックス（横 630 mm、縦 300 mm、奥行 120 mm）、無線機固定用ブラケット等を設け、滑り止めを施した S 字フックを 6 個以上設けること。

イ 電子サイレンアンプで使用する多機能マイクを、後部座席の乗降車及び走行時において支障のない位置に増設すること。

(5) 座席等

ア 座席は前部2席、後部3席（全席シートベルト付）とすること。

イ 助手席隊員用空気呼吸器の設置場所及び固定方法にあつては別途協議とする。

ウ 全席とも難燃材を使用し、防汚シートカバーを取付けること。なお、運転席後部には車検証入れを設けること。

エ 後面を積載庫側に延長し、呼吸器収納スペースを確保すると。

オ 後部座席後方に空気呼吸器取付装置一体型のクイックホルダー3基を装着し下部には保護ゴムを貼付すること。なお、クイックホルダーと呼吸器装着時の調整を納入前に実施すること。また、クイックホルダー付近には帽子掛けを取付けること。

カ 後部座席のシート下部には、可能な限り大きな収納ボックスを設け、資器材等の取出しは上部、前面または側面の可能な位置に設置した扉から取出せる構造とすること。収納する資器材、固定方法等の詳細は別途協議とする。

キ シート下部内に収める電装品には、可能な限り水汚損防止の措置を講じること。

(6) 収納等

ア 前席と後席の間に吊り戸棚式の強固な収納庫を可能な限り大きく設けること（間口20cm以上）。なお、底部は鉄製のパンチング加工とし、小型の専用S字フックを5個以上取付け、落下防止用の立上げを施し、必要に応じてゴムネット及びゴムネット掛け用のパイプ等を設けること。また、前面には電気メガホン、床裏面にはティッシュボックス（マグネットタイプ）を固定できるマジックテープを設けること。

イ キャブ内において乗降及び走行時に支障のない位置にネット状の網棚を設置すること。大きさ、位置、数については別途協議とする。

(7) 車内照明

ア 運転席、助手席及び後席の天井に埋め込み式LED照明（純正品とは別）を設けること。なお、照明のスイッチは、本体付近に設置しスイッチは切り替え式（ON/OFF）とする。

イ 助手席上部及び後部席右上部にLEDフレキシブルマップランプを取付けること。

ウ 後部座席の足元を照らせるLEDライトを取付けること。スイッチの位置等は別途協議とする。

(8) その他

ア キャブ内の床面は可能な限りアルミ縞板張りとし、消防活動後の乗車における水汚損防止の措置を講じること。なお、必要に応じて水抜き穴を適所に配置すること。

イ 天井部は、電装品及び各配線の点検が可能な限り容易に行える構造であること。

ウ キャブチルトの際は、三連梯子等を積載する手動シーソー式装置との緩衝を防止するため、警報音を鳴らすほか、手動シーソーが下りている状態の時にキャブチルトが実行できるものとする。

エ 各項目について、シャシ等の構造により施工できない場合は別途協議とする。

オ その他本市が指示する必要事項。

2 積載庫ぎ装及び架装

(1) 外 観

- ア 積載庫の形状は角を面取りした箱型とし、側面の積載庫は上下へ可動するシャッター式とする。なお、必要によりシャッター下部は展開式ステップとする。両側面はシャッターを各2枚設けることとし、各巻取部にはシャッター損傷防止策を講じること。
- イ 安全走行を図るため、可能な限りデパーチャーアングル（図面記載）を確保し、後輪から後部壁面までの距離が最大限短くなるよう施工すること。詳細は別途協議とする。
- ウ 積載庫上面の両側面及び後面は1段手摺りを設けること。なお、資器材の固定を考慮し、支柱部分には十分な強度をもたせること。
- エ 赤色点滅灯を車両後部に4個（保護枠付）及び両側面に各2個を取付けること。
- オ 周囲灯を車両の両側面に各1個（スイッチ付）を取付けること。
- カ 積載庫上面はアルミ縞板張りとし、必要に応じ積載庫へ通じる扉（水密構造）を設けること。
- キ 積載庫上面に上がるため、両側面にステップ等を設け、後面には展開式はしご等を設けること。詳細は別途協議とする。
- ク 積載庫上面に設置する物は次のとおりとし、可能な限りポンプ室の点検を容易にする措置を講じること。なお、車高を抑えた構造とし詳細は別途協議とする。

(ア) 運転席側

- ① チタン製三連はしご、チタン製鍵付はしご及びとび口2本を安全確実に積載し、同時に昇降する事が可能な手動シーソー式装置を設けること。なお、はしごの固定方法等は別途協議とする。
- ② 前部に作業灯（落下防止チェーン付）を取付けること。

(イ) 助手席側

- ① アルミ縞板ボックスを設け、内部に分割式棒状吸管専用の収納スペースを設けるほか、その他の資器材が収納できるよう固定バンド及び仕切り板を設け、床面は取外しが可能なスノコ板（プラスチック製）を設けること。
- ② 後部に照明灯（落下防止チェーン）を取付けること。
- ③ 必要に応じて本市が支給する消火薬剤を置くための、固定器具を設けること。

ケ 路肩灯(LED)を左右後輪付近に取付け、車両のスマールランプと連動させ、点灯・消灯させること。

コ 必要により夜間走行時の視認性を考慮したLED照明を車両後部付近に設けること。

(2) 積載庫内

ア 積載庫前部（ポンプ室上部）

- (ア) 資器材等の収納庫を可能な限り大きく設け、必要に応じ可動式の棚を設けること。
- (イ) 積載資器材の飛び出し防止措置を講じることとし、詳細は別途協議とする。
- (ウ) 積載庫の床面には取外しが可能なスノコ板（プラスチック製）を設け、必要箇所にスライドレールを設けること。詳細は別途協議とする。
- (エ) ポンプ等を点検、修理等ができるポンプ室点検口を必要な箇所に設けること。なお、構造等により施工不能の場合は、本市と協議をすること。

(オ) 積載庫床面には必要に応じて排水用の水抜き穴を設け、ビニールパイプを接続しボデー下部まで延長しておくこと。なお、水抜き穴の位置等については別途協議とする。

イ 積載庫前部側面

(ア) 防火衣等を掛けるバーを設け、フックを必要数設けること。詳細は別途協議とする。

(イ) 車外無線送受話器及びスピーカーを両側の前方壁面付近に取付けること。

(ウ) 車外無線送受話器付近の適所にサイレンアンプ用マイクを左右各1個取り付けること。詳細は別途協議とする。

ウ 積載庫前部側面下部

(ア) 強度のある展開式ステップを運転席側及び助手席側に設けること。また、展開時ステップ側面には反射テープを貼付すること。

(イ) 助手席側は上下二段の積載庫とし、必要により引出棚を設けること。

エ 積載庫運転席側後部

(ア) 必要に応じて資器材を積載できる棚（可動棚、引出し棚、展開棚）を設けるほか、長物を収納できるスペースを確保すること。大きさ、数量等は別途協議とする。

(イ) 資器材固定用ベルトを必要数設けること。積載する資器材は別途指示とする。

(ウ) 床面には必要に応じて排水用の水抜き穴を設けること。

(エ) 床面に損傷を防止する板（アルミ製）を設けること。

(オ) 背負い式ホースカー1台以上を収納し固定金具等を設けること。なお、背負い式ホースカーの取出しは容易に行える構造とすること。設置位置等は別途協議とする。

(カ) 予備ポンベの収納箇所及び数量にあつては別途協議とする

(キ) その他、本市が支給する資器材がある場合は、必要な固定具を設けること。

オ 積載庫助手席側後部

(ア) 吸管を巻いた状態で積載できる構造とすること。固定金具については別途協議とする。

(イ) 床面には必要に応じて排水用の水抜き穴を設けること。

(ウ) 床面に損傷を防止する板（アルミ製）を設けること。

(エ) 吸管巻取部以外のスペースには、消火栓部署時に使用する資器材を安全確実に取付けること。詳細は別途協議とする。

カ 積載庫後部

(ア) 積載庫後部は、電動アシスト付ホースカー（以下、「ホースカー」と言う。）のみを収納する積載庫とし、ホースカーの昇降は人力を必要としない電動装置等とする。なお、電動装置等の配管や非常用操作部は誤操作が発生しないように保護枠等を設けること。

(イ) ホースカーは、次の物を取付けた状態で収納すること。なお、ホース搬送時に天板面に荷物を積載できる構造とすること。詳細は別途協議とする。

- ① 積載箱内はホース4本程度が積載できるホース収納箱（アルミ）及びホース4本程度積載できるホースバッグを各2個用意し、二分割の延長及び搬送できる構造とすること。
- ② 特殊ノズル1本
- ③ 分岐管
- ④ 65mmメス×50mmオス媒介
- ⑤ 伸縮式とび口
- ⑥ その他本市が指示するもの

(ウ) ホースカー上部はダンパー式の扉とし、可能な限り大きな積載スペースを設けること。積載庫の床面に取外しが可能なスノコ板（プラスチック製）を必要枚数設けること。また床面には排水用の水抜き穴を設けること。収納する資器材、固定方法等は別途協議とする。

(エ) バックトークスピーカー（防水機能付き）を後面の必要箇所に設置すること。

(3) その他

ア 必要に応じた積載品には、堅固な取付金具を設け安全確実に積載すること。また、容易に取外しが可能な構造とすること。取付位置等の詳細については別途協議とする。

イ ボデー損傷を防止するため、取付け品等で損傷を受ける可能性がある箇所にアルミ製の保護板を設けること。設置位置は別途協議とする。

ウ 各積載庫内の有効な位置に庫内灯（LEDタイプ、開放と連動）を設け、スイッチを前席付近に設けること。

エ その他本市が指示する必要事項。

オ 各項目について、構造により施工できない場合は別途協議とする。

3 水ポンプ装置

(1) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に定めるA-2級ポンプとする。

(2) ポンプはアルミ製若しくはメンテナンスフリーの青銅鋳物製とし強度、耐食性を十分考慮したものとする。

(3) グランド部及び軸先端部は外部からのグリス等の注入を必要としない無給油式グランドパッキンまたはグリスレスのメカニカルシールとすること。

(4) 動力消防ポンプの駆動は、シャシエンジンのPTO（パワーテイクオフ）で駆動され、PTO操作は運転席に設けたスイッチで行うものとする。

(5) ボールロック付き75mmの吸水口をポンプ室両側に各1個設けること。

(6) 助手席側吸水口の先端に75mmの吸水口エルボを取付け、75mm×10mの吸管を常時接続し、側面後方シャッター内に積載すること。（連続呼水装置付とする。）

(7) 運転席側面の吸水口の先端には75mmワンタッチ式ツインスター金具を取付けること。

(8) ボールロック付65mmの放水口をポンプ室両側に各2個設け、その先端に放水口媒介金具を取付けること。なお、両側共に前方に放水口をCAFS装置兼用の吐出口とすること。

- (9) ボールコック付 65 mmの中継口をポンプ室両側に各 1 個設け、その先端に中継口用媒介金具を取付けること。
- (10) 各ボールコック部分は、容易に点検できる構造とすること。
- (11) 吸水口・放水口・中継口はボデー側面前方シャッター内に設けること。
- (12) サブラジエーターの冷却装置を設け切替により、車外にも排出できる構造とすること。

4 真空ポンプ装置

- (1) 真空ポンプは圧縮空気泡消火装置のコンプレッサーを利用したエゼクター式又は、無給油式の 4 翼～6 翼偏芯ローターリーポンプ（排気量 1.2L 以上）式とすること。又は同等可とすること。
- (2) 真空ポンプの作動は電磁クラッチ方式（揚水完了後、自動的に離脱）とし、両側面に設けたスイッチにより作動すること。また、非常用の真空ポンプ作動スイッチを運転席側面に設けること。

5 ポンプ操作

- (1) ポンプ室の両側にポンプ圧力計・ポンプ連成計、調速ハンドル、多機能液晶ディスプレイ等を設けること。
- (2) ポンプ操作装置の取付位置は、操作員が容易にかつ安全にポンプ操作が行える両側面の適所に設けること。なお、多目的液晶ディスプレイ等の視認性を考慮し、昼間視認性が悪い場合は調光機能等を設けること。
- (3) 本液晶ディスプレイには、下記の表示内容及び機能を有すること。
 - ア 主ポンプ作動状況表示及び主ポンプ揚水表示
 - イ 真空ポンプ作動表示及び真空異常表示（警報ブザー付き）
 - ウ 冷却水異常表示（警報ブザー付き）
 - エ ボールコック開閉確認表示
 - オ ポンプ圧力計及びポンプ連成計
 - カ ポンプ回転計
 - キ 流量計（4 放口）
 - ク 積算流量計
 - ケ 水量計
 - コ 自動運転機能（自動調圧機能、キャビテーション回避機能付き）
 - サ ハンドルロック機能（PTO がつながっていない時は、スロットルハンドルを操作してもエンジン回転操作ができないこと）
- (4) ポンプ操作装置には緊急時における非常停止スイッチを設け、作動後はポンプ回転が自動的にアイドル状態まで降下すること。
- (5) 故障時等においても操作ができる様に、非常用調速ハンドルを設けるものとし、運転席側にて操作がおこなえること。なお、モニター一体式でない場合はこの限りでない。

6 水槽関係

- (1) 車体に、水槽（600ℓ 以上 900ℓ 未満）を設けること。なお、詳細は別途協議とする。
- (2) 水槽は、振動・衝撃などにより損傷・緩み等を生じないように車台に固定し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とし、水槽内面は防食加工を施すこと。
- (3) 水槽内部は清掃等に便利な構造であること。
- (4) 水槽にはオーバーフローパイプ、補給口及び排水口を設けること。
- (5) 水槽には積水口、水量計（目盛り付）を両側に各 1 個設けること。構造上の支障がある場合は 1 個でも可とする。
- (6) 水槽はポンプへの送水が可能な構造とし、コックを設け、配管には緩衝措置を施すこと。
- (7) 積載庫上面の補給口（マンホール）にあつては、はしご積載装置に支障がないよう考慮すること。
- (8) 水槽保護の観点から、非揚水時に水槽吸水コックを開くと、自動的に真空ポンプが作動すること。又、水槽吸水コックを開いている時に、中継コック、吸水コックを開くと自動的に水槽吸水コックが閉まる構造とする（構造上施工不可の場合は別途協議とする）。

7 消火泡圧縮吐出装置（CAFS 装置）

- (1) 水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置であり、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。また、気水比が約 5～10 倍の消火・火災鎮圧用湿式泡（ウェット泡）と気水比が約 16～20 倍の延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の 2 種類の泡を生成でき、泡専用管銃を用いることなく吐出可能なものとする。
- (2) 消火泡圧縮吐出消火泡圧縮吐出装置の泡圧力は、0.2MPa～0.7 MPa 以上までポンプスロットルダイヤルにより任意に設定できる構造とすること。
- (3) 最大水流量 600 L/min 以上、最大空気吐出量 3,000 L/min 以上とし、最大泡吐出量 3,600 L/min 以上とすること。
- (4) 構造
 - ア 操作は両側ポンプ操作盤の液晶表示ディスプレイ内で可能なこととし、タッチパネルまたはパネルスイッチ式にて操作が出来ることとする。
 - イ 湿式泡と乾式泡の切替操作は、液晶表示ディスプレイ内にてワンタッチで行えるものとする。なお、切替及び気水比の変更操作は放水中でも可能なこと。
 - ウ 泡放射ならびに混合液の放射については自然水利、消火栓、中継水利、自車水槽のいずれの水利においても支障無く放射ができる構造とすること。なお、中継水利については自車水槽を経由せずに使用できる構造とすること。
- (5) コンプレッサー
 - ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑油は補助冷却器により冷却する構造とする。なお、補助冷却器は圧力水の一部の水により冷却されるものとする。
 - イ メンテナンスを考慮し、国産製品とすること。
 - ウ 油温上昇を警告するブザー等を設けること。

- エ 冷却に使用した水は水槽へ還流するものとする。また、切替により、車外にも排出できる構造とすること。
- (6) 混合装置は圧縮空気流量又は放水流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して混合比設定する電子式比例混合式とする。混合比はワンタッチにて変更可能なこと。なお、混合比の変更は放水中でも可能なこと。
 - (7) 本装置での泡消火作業は、ポンプ室左右前側の水ポンプ吐水口を使用し、コック操作により、容易に泡放射と水放水の切替が可能な配管構造とする。なお、操作性及び誤操作防止のため、消火泡吐出口を専用で設けないこと。また、泡放射中も水専用吐水口より放水可能なこと。
 - (8) 消火泡圧縮吐出装置（コンプレッサー、混合装置等）は全てポンプ室内に積載し、側面シャッター下部積載庫や後部シャッターボックス等のスペースを極力減少させることなく、資器材等を積載できる構造とすること。
 - (9) 水と泡原液のみを混合し、混合液のみの放射も可能な構造とすること。
 - (10) スラッグフロー現象の防止のため、安全機能として、消火薬剤がなくなった際、自動で水のみの放射に切り替わる構造とすること。
 - (11) CAFS 操作時、泡流量に加え、使用水量をポンプ操作液晶パネル内に同時に表示可能なこと。
 - (12) CAFS 放水圧がホースの耐圧以上になると警報を発すること。
 - (13) 誤操作防止のため、CAFS の作動ボタンは、CAFS の切替コックが完全に閉まった後に表示されるようにすること。
 - (14) 消火作業中の泡原液の補給を容易に行えるように、設置したポリタンクより吸液して使用可能なこと。また、連続使用も可能なものとし、外部吸液口を設け、切替コックを併設すること。
 - (15) CAFS 操作は容易に可能なものとし、自動調圧機能を設け、CAFS の作動に連動して自動調圧機能が作動し、あらかじめ混合比及び発泡倍率を設定することにより、CAFS 作動ボタンと吐水コック開のみで泡放射が可能なこと。また、自動調圧の設定圧は CAFA 放射中にも任意に変更可能なこと。

8 電装関係

- (1) バッテリー容量は 24V-100AH 以上とし、走行用及び特殊装備品の使用を考慮し、消費電力一覧に基づく必要な電気容量を確保すること。
- (2) バッテリー積載部は引出し式とし、ロックはワンタッチの解除方式とすること。
- (3) 車内の乗降等に支障のない位置に汚損防止枠を設けたバッテリー管理器を取付け、電源はオイルパンヒーターと共用すること。
- (4) キャブ内のセンターコンソールボックス付近にオイルパンヒーターと同一電源の AC100V 用コンセント（2 個口接地付）を設置すること。取付位置等は別途協議とする。
- (5) ドライブレコーダーを取付け、電源は ACC 以上で通電すること。
- (6) 赤色警光灯は、ACC 以上で通電すること。

9 無線機

260MHz帯消防救急デジタル無線装置（富士通ゼネラル製CM-2010）無線機本体の取付けを、納車後に本市が実施するため、配線等を次のとおり行うこと。

(1) 車 外

ア 消防救急デジタル無線用アンテナについて

(ア) 消防救急デジタル無線用アンテナ及び貫通型アンテナ取付金具を受注者で新たに用意し取付けること。なお、貫通部から雨露の侵入がないようにすること。

(イ) アンテナ取付位置は、ルーフ上部の送受信に支障のない位置(消防救急デジタル無線用アンテナ2本を1.2m以上離して設置、アンテナエレメントと同じ高さの金属類から30cm以上離して設置)に設けること。なお、この離隔距離が確保できない場合は、本市と協議し、アンテナ取付位置について本市の承諾を得ること。

イ 車外無線通話装置について

(ア) 無線送受話機と送受話機用ハンガーを取付けること。なお、無線送受話機及び送受話機用ハンガーは受注者が新たに用意すること。

(イ) 無線送受話機は車両左右側面前面シャッター内に収納すること。無線送受話機と送受話機用ハンガーの取付位置について、本市の承諾を得ること。

(ウ) 送受話器用6芯ケーブル(MVVS 6C×0.3sq)を受注者で用意し、無線機取付位置から車両左側面前面シャッター内のに1本配線するとともに、車両左右側面前面シャッター内も送受話器用6芯ケーブル(MVVS 6C×0.3sq)を配線すること。

ウ 車外無線機用スピーカーについて

(ア) 車外無線機用スピーカーを2台取付けること。なお、車外無線機用スピーカーは本市が支給する。支給するスピーカーは、UNI-PEX社製CA-150ST Fとする。

(イ) 支給するスピーカー(CA-150ST F)の取付けができない場合は、定格入力5W以上、定格インピーダンス8Ω以上のスピーカーを受注者で新たに用意すること。

(ウ) 取付位置は、車両左右側面前面シャッター内とすること。取付けできない場合は、本市と協議し取付位置について本市の承諾を得ること。

(エ) 左右のスピーカー用ケーブルは、左右それぞれの車外送受話機付近で巻いておくこと。

エ 各配線の端末には、線種を明記すること。

(2) 車 内

ア 無線機について

(ア) 無線機取付場所をセンターコンソールへ確保すること。

無線機取付ブラケット(マウントシャーシ)及び、ブラケット用架台を受注者で用意し取付けること。なお、無線機を取付けるために必要なセンターコンソールの開口寸法は、別途指示する。また無線機取付場所をセンターコンソールへ確保できない場合は、その取付位置は別途協議とする。

イ 車内送受話機について

(ア) 無線送受話器及び無線送受話機用ハンガーを助手席付近及び後部座席付近の乗降及び走行時において支障のない位置に取付けること。取付位置等は別途協議とする。なお、無線送受話機及び送受話機用ハンガーは受注者が新たに用意すること。

(イ) 送受話機用コネクタ(ヒロセ電機HR10A-10R-12S(71))をフロントパネルのスイッチ部助手席側に取付け、送受話器用4芯ケーブル(MVVS4C×0.3sq)と結線(半田付け)し、無線機取付位置付近まで配線すること。送受話機用コネクタは、半田付け用端子がパネル裏面

側となるよう取り付けること。送受信機用コネクタは受注者が準備すること。なお、送受信機用コネクタの半田付け用端子と結線する4芯ケーブルの線色等は別途指示する。

ウ アンテナケーブルについて

(ア) 無線用アンテナケーブルを「各アンテナ取付金具から無線機取付位置」まで1本づつを配線すること。

(イ) アンテナケーブルは室内に露出しないよう内張り配線とすること。なお、内張り内でケーブルのばたつき音が生じる恐れがある場合は、フレキシブルチューブ配管などで必要な処理をすること。

エ 無線機用電源について

(ア) デジタル無線機取付位置付近に組端子台を設けること。

組端子台は、プラスチック製のカバーが付いていること。

取付位置等は、別途協議とする。

組端子台には、次の電源を供給するように施工すること。

なお、シャシにより設定の無いものは、省略することができる。

① バッテリー (+) 電源 (バッテリー直接供給)

② バッテリー (-) 電源 (アース)

③ メインスイッチに連動する (+) 電源

※シャシが24Vであれば、端子台への供給電圧は24Vとなるように接続すること。

(イ) (ア) の①の供給電源については、バッテリーからの専用配線とし、ヒューズ (10A) を介して供給すること。

(ウ) 無線機専用の電源ケーブルを受注者で用意すること。

(エ) 組端子台と電源線双方に、線種を明記すること。

(オ) 無線機電源用のキースイッチを受注者が用意し、本市が指定する位置に取り付けること。

取付位置は3芯ケーブル (VCTF 3C×0.75sq) と結線 (半田付け) し、無線機取付位置付近まで配線すること。なお、キースイッチの半田付け用端子と結線する3芯ケーブルの線色等は別途指示する。

オ 無線用スピーカーについて

無線用スピーカー (定格入力5W以上、定格インピーダンス8Ω) を受注者で用意し、車内1箇所埋め込み式で設置すること。音声用ケーブルをデジタル無線機取付位置まで配線すること。なお、無線機スピーカーの取付位置等は、別途協議とする。

(3) 車内、車外共通

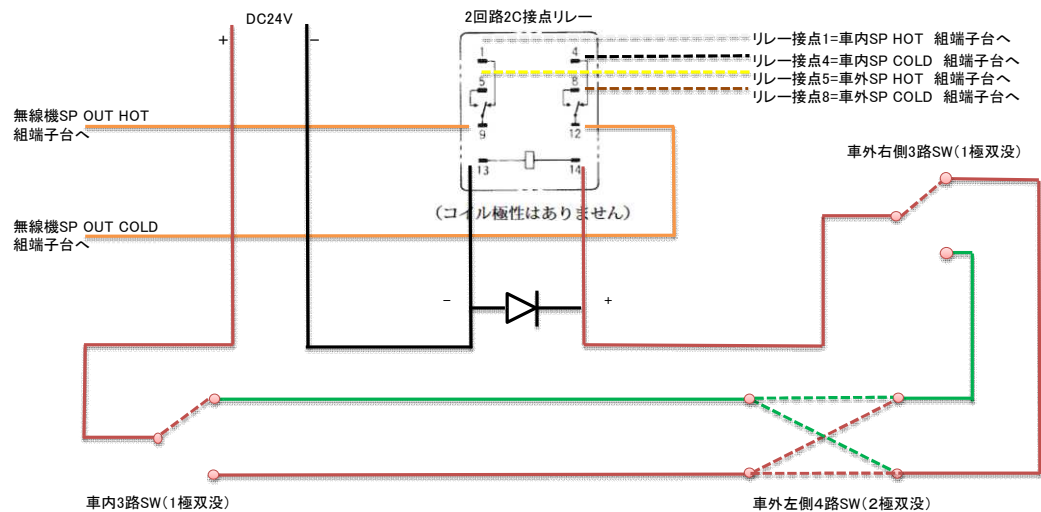
スピーカー音声出力の車内・車外切替のための「リレーを用いた4路回路」を以下のとおり設けること。

ア 車内前席から容易に操作ができる位置にスイッチ (NKK製S-2 B同等品) を1つ取付けること。

イ 車外右側 (助手席側) ポンプ操作用タッチパネル付近に (NKK製S-2 B同等品) を1つ取付けること。

ウ 車外左側 (助手席側) ポンプ操作用タッチパネル付近に (NKK製S-6 B同等品) を1つ取付けること。

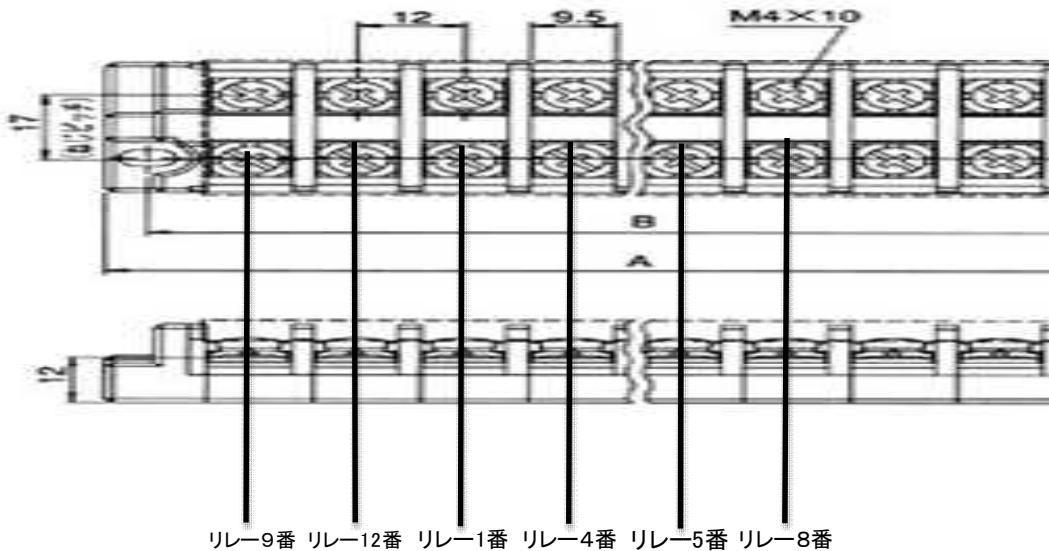
エ 下の回路図のとおり「リレーを用いた4路回路」を設けること。



※リレー参考型番(オムロン製MY2-D DC24) リレーソケットPYF08M 保持金具 PYC-P
 ※リレーはダイオード付
 注1、車外配線は既存MVVS 6C×0.3+スイッチ用配線のVCTF 4C×0.3以上を配線
 注2、スイッチ配線接続～リレー配線～端子台までは艤装施工範囲とする

- オ 組端子台とリレーまでの配線は、6芯ケーブル (MVVS6C×0.3sq) とすること。
- カ リレーからの接点出力は、組端子台に接続することとし、リレーの端子番号と、組端子台の接続は下の図面のとおりとすること。なお、組端子台は、無線機取付位置付近に固定しないで置くこととし、電源用の組端子台とは別とすること。
- キ 各スイッチ間の線種は指定しない。

無線機、SP接続側(横須賀市無線取付側)



リレーソケット側(車輛艤装メーカー側)

組端子台参考型番 春日電気 T20 C 06
 注1、施工による責任分界点は端子台にて
 注2、端子台は無線機取付付近に

- ク 各ケーブル類は50cm程度余長を持たせた長さとする。
- ケ 各配線の端末は、線種を明記すること。
- コ 本市が支給する物品を宅配便等で受注者へ送付する場合、その運賃は受注者が負担すること。

10 車両運用端末装置 (AVM 装置)

車両運用端末装置の配線等については、納車後に本市所有の AVM 装置の取付工事を本市が実施するため、受注者がアンテナ等を新たに用意し、次のとおり施工すること。なお、詳細は別途指示する。

- (1) 指定する GPS アンテナを、極力ルーフ上の車両進行方向に近い位置に取付け、GPS アンテナの設置部周辺及び配線接続部分に耐熱防水 (車両外装用シリコン・シーラント) 処理を実施し、車両インターフェースユニットの取付位置まで、車両の伝送系ノイズの影響を極力受けないルートを考慮して最短距離で配線すること。ルーフ上への取付けを最優先とするが、困難な場合のみ本市と協議の上、ダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、極力水平の位置で金属製 GPS アンテナ用アースプレートを貼付した上に取付け、車両インターフェースユニットの取付位置まで、車両の伝送系ノイズの影響を極力受けないルートを考慮して最短距離で配線すること。GPS アンテナ末端の専用コネクタ側に全ての余長をまとめること。
- (2) 指定する FOMA アンテナをダッシュボードの助手席側で運転視界の妨げにならない場所、かつエアコン吹き出し口付近を避け、FOMA アンテナを完全に立てることが可能な位置に取付け、FOMA アンテナ末端の専用コネクタ側を、モニタユニット設置位置付近まで最短距離で配線し、全ての余長をまとめること。
- (3) GPS アンテナの取付位置は、無線用アンテナから概ね 50cm 以上離すこと。また、運転の安全を妨げることはない、かつ金属突起部等から極力離れた位置に設置すること。
- (4) GPS アンテナをルーフ上に取り付ける場合、ルーフ上の車外配線は、GPS アンテナから車両進行方向と逆側に配線し、車内の配線については、無線用同軸ケーブルと同じ経路で通線しないこと。配線は最短距離で行ない、配線を保護する方法と外部から浸水しない処置をすること。
- (5) 液晶ディスプレイの取付架台を運転に支障がなく、かつ助手席からの操作が容易な位置に設けること。取付架台は可能な限り液晶ディスプレイの設置位置を前後に変更できるよう幅を設けるようにすること。固定方法と位置については別途協議する。液晶ディスプレイ等重量は約 5 kg であり、取付架台の強度を十分確保するため、鉄板強度を高めた構造とし、ボルト及びダブルナット固定とすること。
- (6) 運転席の座席後部に AVM 装置関連機器 (車両インターフェースユニット、メンテナンスユニット (カバー含む)、モニタユニット、ネジ式ターミナル端子) の設置場所を確保し、車両インターフェースユニットの設置位置には、車両インターフェースユニット及びネジ式ターミナル端子台を余裕で収納できる大型の金属加工のカバーを設置すること。確保カバー形状と設置位置については別途協議する。車両内に配線経路のみを通すことのできる隔離した収納場所を設けている場合、本市と協議の上で、この金属加工カバーの設置をしないことができる。

- (7) ネジ式ターミナル端子台には、上から順番にバッテリーからダイレクト配線の+端子、アクセサリ(ACC)、イグニッション(IGN)、SPEED信号(車速信号)、BACK信号、アース(ボデー)、バッテリーからダイレクト配線の-端子で配線すること。各配線及び端子台には、線種が分かるようタグを取付けること。ネジ式ターミナル端子台及び金属加工の小型カバーは、納車時に完全固定しないこと。
- (8) バッテリーの電源配線については、バッテリー付近にブレードヒューズBOXと10Aのブレードヒューズを取付け、ネジ式ターミナル端子台まで直接配線し、他と配線を共用しないこと。ブレードヒューズBOXには、タグを貼付すること。車両バッテリー交換時に、この配線が車両内で干渉しないよう考慮して配線すること。
- (9) AVM装置関連機器の設置位置に、資器材等を積載する恐れのある構造の場合は、関連機器を保護するための措置をすること。
- (10) 配線端末側には線種を明記したタグを取り付けること。

11 塗装及び記入文字

(1) 本車両の塗装

塗装色については、本市が別に提示する色見本もしくは、次の塗装色を基準にすること。

本車両の外観塗装全般(ホイール部分を除く)は、マンセル値7.5R4/14の近似値または同等色とし、彩度は14以上ならば可とする。

(2) 本車両の記入文字

ア 横書きの文字は、左から右への表記とする。

イ 指定する文字は、白色の丸ゴシック体とすること。なお、詳細は別途協議とする。

ウ 表記している文字は、位置・大きさを考慮し、バランスよく表示すること。なお、車両の形状等に応じて協議の上、調整を可能とする。詳細は別途協議とする。

エ シャッター等のデザインについては、別途協議とする。

オ 必要箇所に再帰性に富んだ反射材を貼りつけること。

カ 表記文字等は別添とおりとし、変更となった場合は速やかに受注者へ通知する。

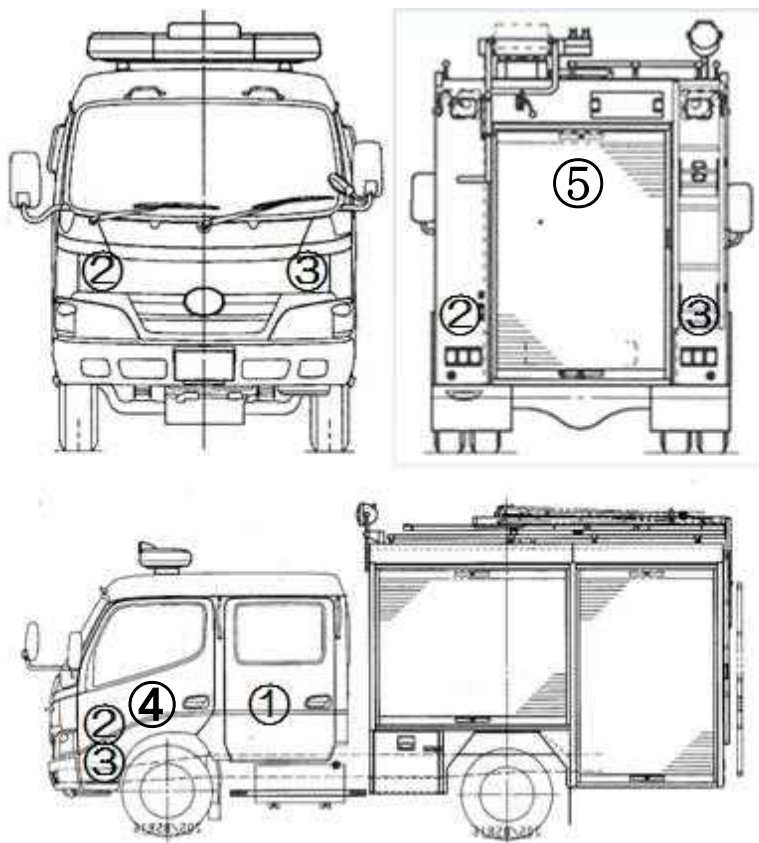
第12 補 足

- 1 車両の取付け品等において同等以上の性能を有するものを備える場合は、本市と協議をし、承認を得ること。
- 2 車両の資器材は最新の物とし、変更がある場合は本市担当者へ連絡すること。
本市が指定する資器材には専用の収納ケースを設けること。
※上記の1及び2については、原則、仕様書の適用欄に示したとおりとする。ただし、契約後において、仕様書で定めた物品と同等以上の性能、操作性及び安全性を有することを証明できる内容の資料提出があり、本市が認めた場合は同等品とみなす。
- 3 別表1から別表4までの指定する資器材及び各収納ケースには「横須賀市消防局」、「三浦 R 539」と明記すること。その他、詳細は別途協議とする。
- 4 車両登録番号については「539」とすること。

別添

※ 添付している文字記入位置イメージ図は、記入位置を参考にするものであり、車両及び資器材等を限定するものではない。

【文字記入位置イメージ図】



記入文字等	記入位置	色別	1文字の大きさ 縦 (mm) × 横 (mm)
横須賀市消防局	①	白	別途指示
三浦	②		
車両番号 (539)	③		
横須賀消防 イラスト その1	④	別途指示	
横須賀市消防局	⑤		
補助金等充当元 (別途指示)	別途指示		

別表 1

装備品

番号	品名	適用	数量
1	エンジン回転計	適応品	1 式
2	エンジン油温計	適応品	1 式
3	アワーメーター	適応品	1 式
4	エアコン	適応品	1 式
5	パワーステアリング	適応品	1 式
6	パワーウィンドウ	適応品	1 式
7	デュアルエアバック	適応品	1 式
8	集中ドアロック	適応品	1 式
9	フォグランプ	適応品	1 式
10	電動格納ミラー	適応品	1 式
11	電動キャブチルト	適応品（必要に応じ三連梯子積載時安全装置を設置すること）	1 式
12	ラジオ	AM・FM	1 式
13	サイドバイザー	適応品	1 式
14	フロアマット	適応品	1 式
15	泥除け	適応品	1 式
16	停止表示板	適応品	1 式
17	車輪止め	ゴム製（黄色）	2 式
18	本車両用スペアタイヤ	ホイール付（塗装なし）	1 式
19	本車両用タイヤチェーン	適応品	1 式
20	本車両用ブースターケーブル	適応品	1 式
21	本車両用鍵	標準装備分含め 4 本	1 式

別表 2

ぎ装、取付け品及び取付装置

番号	品名	適用	数量
1	消防章	台座付き	1 式
2	補助ミラー	助手席側の車外	1 式
3	旗立てパイプ	口径約 25 mm・手摺り兼用	1 式
4	赤色警光灯	NF-ML-VA2M-HA2-LF	1 式
5	赤色点滅灯	前面、側面 LF-21 後面 LF-31 及び LFA-100	1 式
6	標識灯	赤色警光灯一体型 (スモールランプと連動)	1 式
7	積載庫	アルミボックス (キャブ天井部)	1 式
8	バッテリー引き出し式	ワンタッチロック	1 式
9	オイルパンヒーター	10mコード付、カットスイッチ付	1 式
10	ポンプ室側面収納庫	シャッター式各 2 枚	1 式
11	ポンプ室後面収納庫上部	ダンパー式	1 式
12	ステップまたははしご	車両上部昇降用 (両側面)	1 式
13	展開式はしご	車両上部昇降用 (後面)	1 式
14	天井部側面立上げ 1 段手摺	両側面、後面	1 式
15	ポンプ室点検措置	天井部	1 式
16	棒状吸管積載装置	アルミ縞板ボックス	1 式
17	作業灯 (散光) ※後部	フラッシュボーイ EV-Q20 (伸縮式、落下防止チェーン付)	1 式
18	照明灯 (集光) ※前部	フラッシュボーイ SP-Q15 (伸縮式、落下防止チェーン付)	1 式
19	はしご昇降装置	手動シーソー式	1 式
20	保護枠	必要箇所	1 式
21	車体損傷防止措置	必要箇所	1 式
22	周囲灯	LI-21	1 式
23	路肩灯		1 式
24	塗装・記入文字		1 式
25	助手席隊員用空気呼吸器取付け	詳細は別途指示	1 式
26	ビニールレザー加工	乗員席	1 式
27	ルームミラー型車載用 後方確認装置		1 式

28	ドライブレコーダー	(株)ユピテル製 BU-DRHD431 (納車時最新式) (自動時刻補正機能付き、専用 SD16G)	1 式
29	GPS ナビゲーションシステム (ポータブルタイプ)	パナソニック CN-G1100VD (納車時最新式、同等品可)	1 式
30	マップランプ (LED タイプ)	助手席及び後部座席 (左右)、照射角度調整・ON/OFF スイッチ付	1 式
31	後退警報器 (ブザー音)	解除スイッチ付き	1 式
32	電子サイレンアンプ	TSK-D152 (通信機能・専用マイク (後部設置) 付)	1 式
33	電子サイレンアンプ用マイク	前席用、左右ポンプ室 (各 1 個)	1 式
34	集中操作スイッチ	SBW-D1 通信機能付	1 式
35	モーターサイレンスイッチ	運転席付近及び集中操作スイッチ組込み	1 式
36	携帯無線等収納ボックス	前席中央部	1 式
37	手摺り	後部座席前面	1 式
38	空気呼吸器ホルダー	クイックホルダー	3 基
39	帽子掛け		4 個
40	網棚	ネット状	1 式
41	室内灯 (LED タイプ)	運転席、助手席及び後席 (ON/OFF スイッチ付)	1 式
42	バッテリー管理器	ズボラ充電器 (コンセントマグネット式、 コード 10m 付 : オイルパンヒーター共用)	1 式
43	AC100V コンセント	2 個口接地付 (キャブ内 1 個)	1 式
44	取付金具	吸管、消火栓開閉金具、吸管スパナ、管そう、ノズル受け、とび口、金てこ、剣先スコップ、車輪止め、消火器、ホースブリッジ、スタンドパイプ、泡消火薬剤、ホースカー、鉄線カッター、特殊ノズル、分岐管等	1 式
45	空気呼吸器用ボンベ収納		1 式
46	庫内灯	LED タイプ	1 式
47	水ポンプ	A-2 級	1 式
48	PTO		1 式

49	吸水口	75mm ボールコック付 (ストレーナー・エルボ付)	1 式
		75mm ボールコック付 (ストレーナー付、65 mmメス、蓋付)	1 式
50	吸管	NewLF-18 (75 mm×10m、ライン黄色、反射付)	1 式
		NewLF-18 (ネジ式棒状吸管、媒介) (75 mm・約 2.5m×4 本以上、10m 相当)	1 式
51	放水口	65mm ボールコック付	4 口
52	放水口媒介金具	65mm ネジメス×65 差込オス (材質アルミ)	2 個
		ANS-65MC	2 個
53	中継口	65mm ボールコック付	2 口
54	中継口用媒介金具	65mm ネジメス×65mm 差込メス (ストレーナー付)	2 個
55	真空装置	真空形成装置又は真空ポンプ	1 式
56	ポンプ操作装置盤	多目的液晶ディスプレイ型	1 式
57	ポンプ手動操作装置	非常用	1 式
58	水槽	600ℓ 以上 900ℓ 未満	1 式
59	オーバーフローパイプ・補給口・排水口		1 式
60	積水口・水量計 (目盛り付)	左右各 1 個	1 式
61	バックトーク装置	車内スピーカー、車外マイク	1 式
62	消火泡圧縮吐出装置		1 式

別表 3

デジタル無線機等、車両運用端末装置 (AVM 装置)

番号	品名	適用	数量
車載用デジタル無線機			
1	無線用アンテナ	260MHz 帯消防救急デジタル無線用アンテナ 1/2 波長	2 本
2	アンテナ取付金具	アンテナに適合した取付金具	2 個
3	同軸ケーブル (コネクタ付)	5 D - F B	1 式
4	無線機用電源 ケーブル	S G M S G F M 2 - 8 L 5 0 0 0 同等品	1 式
5	無線機送受話器	MC - 1 5 7 D (無線機からマイクまでのケー ブルやジャンクションボックスを含む)	4 式
6	送受話器用 ブラケット	CM - 5 5 3 8	4 個
7	消防救急デジタル無線機 用マウント、シャーシ	CM - 2010M T R	1 個
8	無線用スピーカー (車内)	clarion CS-520A 同等品	1 個
9	キースイッチ	タキゲン S-〇〇〇-90-EF-1 ※〇〇〇は、鍵番号のため別途指示 (ONOFF 表示付)	1 式
10	電装機器類	仕様書本文中で記述したケーブル・端子台・ スイッチ・リレー等	1 式
携帯用デジタル無線機			
11	富士通ゼネラル製 消防救急デジタル無線	携帯型移動局無線装置 C P-2011 P	1 式
12	防水スピーカーマイク	無線機本体に取付けできること	1 個
13	革ケース	無線機本体に取付けできること	1 個
14	肩掛けベルト	番号 14 革ケースへ取付けできること	1 個
15	ベルト装着マウント A 型	無線機本体に取付けできること	1 個
16	バッテリーパック	無線機本体に取付けできること	3 個
17	免許申請		1 式
署活系無線機			
18	バーテックススタンダード社製 消防用署活系無線機	無線機本体 : V X D - 4 5 0 F	4 台
19	連結型充電器	番号 20 の充電電池を充電できること	1 式
20	充電電池	2300mAh 以上	8 個
21	キャリングケース	無線機に充電電池を取付けた状態でケースに入ること	4 個

22	防水スピーカーマイク	無線機本体に取付けできること	4 個
23	クリックリリースブラケット	無線機本体に取付けできること	4 個
24	免許申請		4 式

車両運用端末装置 (AVM 装置)

1	GPSアンテナ	本市指定	1 本
2	FOMAアンテナ	本市指定	1 本
3	金属製GPSアンテナ用アースプレート (GPSアンテナをダッシュボード上に取り付ける 場合に限る。)	本市指定	1 式
4	ネジ式ターミナル端子台	本市指定	1 式
5	大型の金属加工のカバー (隔離した収納場所を設けている場合を除く。)	本市指定	1 式
6	車両運用端末装置用電源ケーブル	本市指定	1 式
7	防水タイプの平型ヒューズホルダー (10Aのブレードヒューズ内蔵)	本市指定	1 式
8	タグ取付け	本市指定	1 式
9	AVM取付架台	指定品対応	1 式

別表 4

積載品・付属品

番号	品名	適用	数量
1	吸管ストレーナー	ストカゴ 16SKGF3P (吸管ロープ 15m、65mm 差込オス媒介付)	2 式
2	吸管ちりよけ籠		
3	吸管ロープ		
4	吸管枕木	75mm 用・ゴム製・黄色	2 個
5	吸管スパナ		2 個
6	消火栓金具	75mm ネジメス×65mm 差込メス	2 個
7	消火栓開閉金具	106 型	1 本
		マンホールキー	1 本
8	防火水槽開閉金具	本市指定 (2 本組)	1 式
9	管そう	PP-65AEXS (643mm)	1 本
		PP-50AEXS (500mm)	1 本
10	ノズル	サイズ 65mm、口径 20mm、材質アルミ	1 個
		サイズ 65mm、口径 23mm、材質アルミ	1 個
		NM II (口径 20mm)	1 個
		NM II (口径 23mm)	1 個
11	特殊ノズル	TS-0501-S (50mm 差込メス) (0.5MPa)	2 本
		ゼロトルク (アクロン社 50mm 差込メス)	2 本
12	とび口	約 1,800 mm	2 本
		伸縮式とび口	2 本
13	金てこ	約 1,100 mm	1 本
14	剣先スコップ	約 800 mm	1 本
15	斧	ハリガンツール	1 個
16	ホース延長用資器材	電動ホースカー TSR-120 (積載箱内ホース 4 本収納箱 (アルミ)、ホース 4 本収納バッグ各 2 個付)	1 基
		背負い式ホースカー (アルミ製 MAC-003 専用カバー付)	2 基
		ホースバック II (W50-65)	6 個
		ホースキャリアバック (ターポリン製 2 本入り)	2 個

17	単はしご	チタン製 KHFL-CT31	1 基
18	三連はしご	チタン製 KHFL-CT87	1 基
		搬送用キャスター（関東梯子 RFC-075）	1 式
19	ポンプ工具		1 式
20	ホース	65mm×20m（キンパイ SP-H-A ルミ AC 町野 N アトラス付、1.6MPa 対応、ホース保護具 赤、記入文字 H31）	30 本
		65mm×10m（1.6MPa 対応）	2 本
21	分岐管	メス 65mm・オスマルチ×2 口対応型、開閉ロック単独レバー式	2 個
22	ストップバルブ	DA 型ストップバルブ（サイズ 50）	1 個
		DA 型ストップバルブ（サイズ 65）	1 個
23	ホース保護具	ホースバンデージ（65 mm用）	5 枚
24	ホースブリッジ	スーパー-L 又はコンパクトブリッジ CB450	2 個
25	スタンドパイプ	PS-65S-S（長さ 715mm）	1 本
26	積水口用ストップバルブ	65 mm差込オス×65 mm差込メス	2 個
27	媒介金具	40mm 差込オス×65mm 差込メス（アルミ製）	2 個
		40mm 差込オス×50mm 差込メス（アルミ製）	2 個
		65mm 差込オス×50mm 差込メス（アルミ製）	2 個
		50mm 差込オス×65mm 差込メス（アルミ製）	2 個
		50 mm差込オス×40 mm差込メス	2 個
		65 mm差込メス×65 mm差込メス	2 個
		65 mm差込オス×65 mm差込オス	2 個
28	泡消火薬剤	ミラクルフォーム α+	5 個
29	トレーニング用泡消火薬剤	10 リットル缶	10 個

30	空気呼吸器	AM30[横須賀モデル] (CS 面体、MSA モーションカット K-T-R、面体保護カバー、カバーガラスF2 取付け済み及び、予備カバーガラス一式、空気呼吸器収納ケース)	4 基
31	空気呼吸器ボンベ	530CIII Z (F-265 刻印、ボンベ用保護上下カバー付き)	8 本
32	窓ガラス破壊器具	ライフハンマー	1 本
33	ロープバッグ	PETZL バケツ (S41Y) 25L	1 袋
		PETZL バケツ (S41Y) 35L	1 袋
34	防刃ベスト	新改III型 (納入時最新)	5 着
35	携帯灯光器	ストリームライト カバー IEC 099	2 個
		JWin LED ジェライト JLL-2100WP	1 基
36	電気メガホン	TS-533L (ウエストホルダー付き、背負い紐長い)	1 基
37	誘導棒	LED 式	2 本
38	照明付発電機	WTA-04 (LED 式、ON/OFF スイッチ付)	1 基
39	チェーンソー	共立 CS42RS/40RV95 (予備替刃、2 サイクルオイル 4L、専用チェーンオイル 1L 付)	1 基
40	エンジンカッター	ハスクバーナー K770 12 インチ (2 サイクルオイル 4L 付)	1 基
		レジノイドブレード 金属用 5 枚・非金属用 5 枚	10 枚
41	ガス検知器	CX-2009 (イソブタン対応) (横須賀仕様)	1 基
42	電気自動車用 検電チェッカー	長谷川電機工業(株)製 HEV-750D	1 個
43	プーリー	三つ打ちロープ用 (PL-75W)	5 個
44	カラビナ (ステンレス製)	スーパー12 5 個 ステンレス 0 型 環付 10 個	1 式
45	スローバック	CMC : 291775 パッククロス	1 個
46	救命胴衣	小型船舶用救命胴衣 C-2 型 (隊表示)	4 着
47	鉄線カッター	MCC : ZBC-600	1 個

48	消火器	自動車用 ABC 粉末消火器 (薬剂量 6 k g 以上)	1 本
49	携帯電話用 シガータイプ充電器	FOMA 用 (12/24V 兼用)	1 式
50	補修用塗料	仕様塗装色	1 式
51	ウォーキングメジャー	リカ・ウォーキングメジャー C-10	1 式
52	ティッシュボックスホルダー	マグネット式 (キャブ内天井等に装着可能であること)	2 個
53	隊長用安全ベスト	ナカネ(カスタムメイドベスト)詳細は別途 指示	1 着
54	無線機携行用ベスト	ナカネ(カスタムメイドベスト)詳細は別途 指示	5 着
55	火災救助バッグ	[横須賀モデル] (FOX ADVANCED HYDRO BACKPACK オレンジ (容量 45L 級)、ミニ蔦口、430 縛帯、鉄線バサミ)	1 式
56	救助バッグ	FOX MEDIUM TRANSPORT PACK (黒、オレンジ各 1 (容量 29L 級))	2 個
57	燃料携行缶	フューエルボトル 1.3L	5 本
58	救急バッグ	モジュラーメディカルキタゲンバッグ A-1000 ブルー (横須賀消防と表記)	1 個
59	伸縮式カラーコーン	オレンジ (ウエイト付)	4 本
60	立入禁止テープ	PE 製 黄色 赤文字印刷	5 本
61	台車	折り畳み式(最大積載量 200 kg)	1 台
62	緊急消防援助隊車両用マグ ネットシート	「緊急消防援助隊 神奈川県隊」× 3 枚 (白地 赤文字 縦 220×横 520 丸ゴシック)	1 式
63	CAFS メンテナンス資器材	コンプレッサーオイル及びオイルフィルター (専用レンチ付)	1 式
64	安全带	本市指定	15 個
65	熱画像カメラ	F L I R K 2	3 個
66	防毒マスク(N用)	興研面体: 1521HG 吸収缶: RDG - 2HP	5 式
67	ロープ	CMC スタティックロープ イエロー 100m 12.5mm (セネラルユース)	1 巻
68	ロープバック	CMC ロープバック 100m 用 ブラック	1 個
69	セイバースクリーン		1 個